



「聖なる者となりなさい。  
私が聖なる者だからである。」  
I ペトロ 1:16

URL <http://www.jhc.or.jp>

1-30-1, Megurita-cho Higashimurayama-shi Tokyo, 189-8512 JAPAN

〒189-8512 東京都東村山市廻田町 1-30-1 Tel 042(394)7466 Fax 042(392)2877 E-mail [jhc-honbu@jhc.or.jp](mailto:jhc-honbu@jhc.or.jp)



2020年5月26日

全国の牧師先生方、役員の皆さまへ

日本ホーリネス教団  
委員長 島津 吉成  
総務局長 佐藤 信人

## 【第9報】新型コロナウイルスの感染拡大への対応について

主の聖なる御名をたたえます。

約一ヶ月半に及んだ新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が、昨日25日（月）に全都道府県で解除されました。毎週の礼拝を休止せざるを得ないという、私たちがこれまで経験したことのなかった厳しい状況の中に置かれてきましたが、ようやくこの時を迎えることができましたことを主に感謝したいと思います。

私たちの教団内におきましては、牧師を始め教会員の中に感染された方が出たという情報は幸いにも今のところ入っていません。この期間、ほとんどの教会では通常のスタイルの礼拝を中止するという措置を取って来られたことと思いますが、一部の教会では、独自の判断により従来の礼拝を継続しておられたようです。教団としましては、そのような教会でのクラスター発生を心配しておりましたが、無事に第一波を乗り越えることができ、安堵しております。

この緊急事態宣言の全面解除を受けて、各教会におかれましては、礼拝等の諸集会の再開について具体的な検討を始めておられることと思います。すでに、5月24日に礼拝を再開した教会もあり、5月31日に再開を予定している教会もあるようです。その一方、何を基準にして再開を決断したらよいかと迷っている教会も多くあることと思います。そこで、再開時期について検討するための一つの指針を下記のようにご提示いたします。それぞれの教会が置かれている具体的な状況は異なりますので、あくまで検討のための一つの目安として参考にしていただければと思います。

### 1. 再開に向けて整えるべき条件

#### (1) 「3つの密」を避ける対策をとる

##### ①【密閉】こまめに換気を行う

- ・可能であれば、集会中も2つの方向の窓を同時に開けておくようにします。
- ・近隣住宅が近い教会では、集会中に窓を開けたままにしておくことは難しいことと思います。その場合も、30分に一度、窓やドアを開けて換気するように心がけてください。
- ・換気扇や扇風機を併用すると、換気の効果はさらに上がります。



「聖なる者となりなさい。  
私が聖なる者だからである。」  
I ペトロ 1:16

URL <http://www.jhc.or.jp>



1-30-1, Megurita-cho Higashimurayama-shi Tokyo, 189-8512 JAPAN

〒189-8512 東京都東村山市廻田町 1-30-1 Tel 042(394)7466 Fax 042(392)2877 E-mail [jhc-honbu@jhc.or.jp](mailto:jhc-honbu@jhc.or.jp)

②【密集】人と人の距離を保ち、密度を下げる

- ・互いの距離を1～2メートル程度あけるために、座席数を減らすとともに、座席位置が前の人と重なったり、真正面で対面したりすることがないように配慮します。
- ・密集を避けるために、会堂の広さと出席人数との関係性を考慮して、1回の礼拝（集会）で集うことができる人数の上限をそれぞれの教会で定めるようにしてください。その上で、人との距離が十分に確保できない場合は、次のような対応をご検討ください。
  - a. 礼拝の回数を増やす（分散する）
  - b. 出席者を制限する（オンライン礼拝に対応できない方などを優先する）
  - c. 出席者を交代制にする（隔週にするなど）

③【密接】近距離での会話や発声などを避ける

- ・出席者にはマスクの着用を徹底してください。司会者や説教者も（会衆席との距離にもよりますが）マスク着用が望ましいでしょう。教会によっては、講壇の前に透明のビニールシートを貼る対策を取っているところもあります。
- ・距離を保っていても、賛美などでの発声が大きくなるとリスクが高まりますので、賛美等における声の大きさにも注意が必要です。

\*現在は感染拡大が収束しているように思えますが、常に「誰かが感染しているかもしれない」（発症前、無症状）という前提のもとで対策をとり続けることが大切となります。

(2) 各自の判断を尊重する

- ・教会員の中には、早く教会に集いたいと願う方ばかりではなく、集まることで感染するのではないかと恐れている方も少なからずおられるものです。特に、教会は高齢者の方々が多く集う場所です。ご家族の中には、早期の再開を心配する方々もおられることでしょう。
- ・そのため、感染を心配しておられる方々が引き続き出席を控えるという選択を自由にできるように、礼拝再開の呼びかけにおいて、各自の判断を尊重する十分な配慮が必要です。

(3) 近隣住民に活動の再開をお知らせする

- ・教会が置かれている地域の状況によって多少の違いはありますが、近隣住民の方々の中には教会の活動再開について様々な心配をしている方々がおられます。
- ・活動の再開にあたって、近隣住民に対して、外の掲示板やホームページなどを利用して、教会がどのような対策を取った上で活動を再開させるのかなどを知らせることが必要です。いきなり活動を再開させるよりも、事前に再開予定時期を知らせた上で、時間をおいて活動を再開させることが望ましいでしょう。

(4) その他

- ・出席者に対しては、出席前に自宅での検温をお願いするとともに、少しでも体調に異変がある場合には出席を控えるように周知してください。
- ・玄関での手指消毒、あるいは手洗いを励行するようにしてください。
- ・飲食は原則禁止とし、水分補給のために各自で水筒等を持参するようにご案内ください。



「聖なる者となりなさい。  
私が聖なる者だからである。」  
I ペトロ 1:16

URL <http://www.jhc.or.jp>



1-30-1, Megurita-cho Higashimurayama-shi Tokyo, 189-8512 JAPAN  
〒189-8512 東京都東村山市廻田町 1-30-1 Tel 042(394)7466 Fax 042(392)2877 E-mail [jhc-honbu@jhc.or.jp](mailto:jhc-honbu@jhc.or.jp)

## 2. 再開時期の判断について

上記のような対策を取った上で、礼拝等の再開時期については、慎重な判断が求められます。それぞれの教会が置かれている状況は地域によってかなり異なりますので、再開時期の決定については、各教会の判断に委ねられます。その判断をするときの指標として、下記に幾つかの点を挙げますので参考にしてください。

### (1) 地域における感染状況

- ・緊急事態宣言が解除されたとはいえ、依然として新規の感染者が出ている地域もあります。そのような地域においては、再開時期をもう少し遅らせる判断が必要でしょう。
- ・一方、継続して感染者ゼロが続いている地域も多くあります。そのような地域では、活動再開の時期を具体的に検討してもよいものと考えられます。

### (2) オンライン礼拝の普及度

- ・早期の活動再開が求められる大きな要因の一つとして、教会員の礼拝生活が十分には確保されていない状況が考えられます。多くの教会では、インターネットを利用した礼拝が行われていることと思いますが、教会（配信側）や教会員（受信側）の事情により、オンラインでの礼拝が行われていない教会、あるいは行われていても利用できるのは一部の教会員に限られている場合には、早期の再開に踏み切る判断もありうるものと思います。
- ・反対に、オンラインでの礼拝が比較的上手く行われている場合には、その他の指標を確認しながら、時間をかけて再開していくとよいでしょう。

### (3) 会計状況（献金方法のルール化）

- ・早期の活動再開が求められるもう一つの大きな要因に、教会の切迫した会計状況があるものと思います。礼拝休止の前に、献金方法について具体的に定めていた教会の中には、献金額が全く減少していない教会もあります。
- ・一方、「次に集まるときまで取り分けておき、再開したときにおささげください」とお知らせしていた教会では、会計状態が非常に厳しくなっていることが予想されます。このためにも、早期に再開に踏み切る判断もありうるものと思います。

### (4) 地域住民の意識

- ・置かれている地域に仕え、福音を宣べ伝えていく使命が与えられている教会にとって、近隣住民の方々の感情を無視して活動することはできません。このため、再開にあたっては、近隣住民の意識に十分に配慮する必要があります。
- ・このことを考慮するときも、教会が住宅地の中にあるのか、活動が再開している商店街の一角にあるのか、隣接した住宅がない郊外にあるのか、などによって対応は異なるでしょう。
- ・一つの指標として、地域の小中学校、幼稚園や保育園などが再開したかどうかを検討材料の一つとするとよいでしょう。ストップしていた地域社会が動き出した大きなしるしであり、教会が活動再開するにあたっては、地域住民の理解を得られやすいものと考えられます。

\*これらはあくまで再開の指標ですので、それぞれの教会で適切に判断するようにしてください。





「聖なる者となりなさい。  
私が聖なる者だからである。」  
I ペトロ 1:16

URL <http://www.jhc.or.jp>



1-30-1, Megurita-cho Higashimurayama-shi Tokyo, 189-8512 JAPAN  
〒189-8512 東京都東村山市廻田町 1-30-1 Tel 042(394)7466 Fax 042(392)2877 E-mail [jhc-honbu@jhc.or.jp](mailto:jhc-honbu@jhc.or.jp)

### 3. その他

(1) 牧師謝儀の支給が困難になっている教会に対する支援について

・【第6報】でお知らせしましたように、新型コロナウイルスの影響を受けて牧師謝儀の支給が困難になっている教会に対する資金援助の申請は引き続き受け付けております。活動が再開することにより、これまで分からなかった会計状態がはっきりしてくるものと思います。支援が必要とされる教会につきましては、【第6報】をご確認ください、「新型コロナウイルスの影響による資金援助申請書」をご提出くださるようお願いいたします。

(2) 次の「緊急事態宣言」に備えて

・報道されておりますように、またいつ感染が急拡大するか分かりませんし、季節性インフルエンザの流行サイクルに合わせて、秋にはかなりの高い確率で第2波が襲来すると言われております。そこで、活動を再開している間に、再度の「緊急事態宣言」が出た場合に備えて、礼拝の方法、献金方法、連絡網の整備など、早いうちに対策を考えてくださるようお勧めいたします。(詳しくは、後日、改めてお知らせいたします)

感染拡大がひとまず収束に向かっていますが、新型コロナウイルスとの息の長い戦いが続きます。医療従事者をはじめとして、このために懸命に働き続けておられる多くの方々の働きが守り支えられますように。

皆さまの教会の上に、主の守りと祝福がありますようお祈りいたします。

「見よ、兄弟が共に座っている。なんという恵み、なんという喜び。」

(詩編 133 編 1 節／新共同訳)

主にありて